

第8回 市民の声を聴く会 提言に対する回答

健康から考える防災効果

(要旨)

防災にとって必要な、体力、気力の増進のために運動を推進し、運動施設を利用する際の費用助成や、運動後の飲食に利用できる割引クーポンなど、市を上げて運動を推進する機運を作れないか。

防災体力向上のため、必要な運動を推進するために、運動施設の費用助成や運動後、近隣の飲食店で利用できる割引クーポンの導入

(対応) 厚生環境常任委員会で協議。

(対応先の協議結果)

現在、千歳市においては、フレイル()のために介護予防普及啓発事業に取り組んでいます。また、市内には13カ所の散歩コースがあり、さらに、千歳市の運動施設である武道館、ダイナックスアリーナ、温水プール及びパークゴルフ場においては、市民の利用料は低く設定しており、高齢者はさらに半額程度で利用できます。基本的に防災体力は生命維持のため、近隣の避難所までの移動に必要な体力と言われ、最も必要な筋力は下肢部(足・腰)であり、無理なくできる散歩やパークゴルフ等も有効と思われます。

民間運動施設の費用助成については、市内・市外の施設を利用する市民との公平性をどう考えるかという問題があり、さらにクーポンの利用を施設の近隣店舗のみに限る問題もあります。

防災体力の維持・向上については重要事項なので、高齢者に配布されている福祉サービス利用券のあり方について意見が出ておりました。

()日本老年医学会が2014年に提唱した概念で、健康な状態と要介護状態の中間に位置し、身体的機能や認知機能の低下が見られる状態のことを指します。